

～女性のパワーと紅まどんなで島を元気に！～
青井 和子さん（松山市）

愛媛県女性農業委員の会会長 農業指導士
1952 年生まれ



☆経営概況☆

経営形態 家族経営

経営品目 紅まどんな 55a、甘平 20a せとか 30a デコポン 30a 他

労働力 本人、夫、長男の3人

その他 かんきつ栽培に取り組む傍ら、愛媛県女性農業委員の会会長を務めるなど、女性のリーダーとして地域に貢献しています。

☆ここがポイント☆

■女性も儲けるために紅まどんなの栽培方法を学んでいます！

15人の女性で由良マドンナの会というグループを作り、紅まどんなの苗を定植して一から育て管理について勉強しています。女性も勉強して夫と切磋琢磨して儲ける農業をしないと子供たちはなかなか帰ってこれないと思うし、私たちも自信を持って帰って来てと言えないのではないかと思います。

■息子達が島に帰って来ています！

そのような中、紅まどんなのおかげで十分な収入を確保できていることもあり、都会でバリバリはたらいていた息子が帰ってきました。また息子の同年代の若者もどんどんUターンで就農し、島に活気が出ています。その若者達の多くはフェリーで興居島に通勤農業をしており、フェリーの中での情報交換がとても重要なコミュニケーションの場になっているようです。

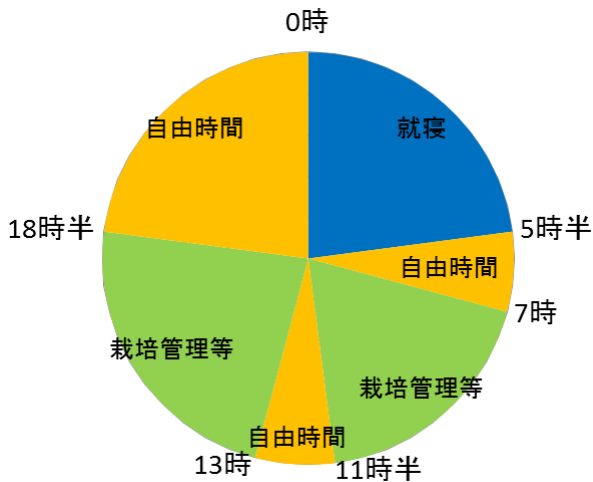


ハウスの風景



デコポンの収穫前

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

会議や研修など前もって日程がわかっている時は、その前後で作業時間を調整しています。
 休日は決めていませんが、私自身、違う場所の季節を感じたくて思いつくまま一人あるいは友人との小旅行を楽しんでいます。
 自然相手の農業は厳しいものもありますが、「農業は楽しいよ」と思えるようになるのは自分自身だと思います。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	← 栽培管理・収穫・出荷 →				← 休日 →	← →
【普通期】	← 栽培管理 →				← 休日 →	



自慢の葉付きデコボン



県外への旅行

☆これからの夢や目指すもの☆

■女性のパワーで愛媛農業を元気に！

県下の女性農業者には素晴らしい方が沢山います。

また、女性は勉強したいと思っています。そうした女性たちがつながり、ともに学びあえば、きっと愛媛農業は元気になると思います！

☆メッセージ☆

■子供に農業を一緒にしようと伝えてみませんか？

農業は、子育てや余暇などに自分の責任で時間が取れるのが強みだと思います。長男は他産業で学んだ知識をもとに自分で計画を立てて収益拡大することを楽しみながら農業に取り組んでいます。会社勤めの時は行けなかった子供の参観日や部活動、趣味のサーフィン、スノーボード、ゴルフも楽しんでいます。農業は、やりようによっては十分な収入を確保ができる魅力的な職業です。子供に「農業を一緒にしよう！」と伝えて